

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平作命第四號別冊第一

內務暫行規定

球第一八〇四部隊平山隊

邊名地宿營間二於此以收務暫行規定
 本冊ノ通り定ム
 平山隊長

昭和十九年八月七日

平山大尉

平山信房日誌(附録)

第一章 總則
 第二章 命令通報及事務
 第三章 宿營地及室内裝置
 第四章 勤務
 第五章 起居及容儀
 第六章 衛生
 第七章 砲廠燃料彈藥置場
 第八章 炊事場
 第九章 火災予防及非常時集
 第十章 營倉
 第十一章 郵便物及電報取扱
 第十二章 雜則
 第十三章 宿營配置及警備區域要圖

附表第一 宿營間ノ日課時限

第一章

第一節

本暫行規定ハ隊ノ辺各地宿營間ニ於ケル起居ニ關シ規定ス 本規定ニ示ス以外ハ軍隊内務令ニ據ルモノトス

第一

各人ハ本宿營ノ特性ニ依リテ隊ノ重大ナル使命ニ鑑ミ特ニ軍紀風紀ヲ緊縮シ軍團ナル團結ノ下皇軍ノ本義ニ邁進セシムコトヲ期スベシ

第二

目下ノ環境ハ作戰上ノ要求ニ基キタル特異ノ態勢ナリト雖モ戰時ノ在ルノ故ヲ以テ内務履行ノ本質ニハ毫モ變テシムルモノニアラス 却ツテ内務履行ノ確否ハ直ニ戰力ニ影響スルトコロ大ナルニ思ヒテ致シ自衛自戒ノ戰友互ニ切磋琢磨シ進ニテ幹部ノ營手握下ニ入り苟クモ恣情ニ馳ラレテ本心ヲ失ク皇軍ノ威信ヲ損ジ奉公ノ身ヲ誤ルガ如キコト断ジテアルベカラス

全軍ノ模範タル教導隊分遣兵タルノ名ニ於テ戰陣
常ニ全軍ノ活模範タルベシ

第四章 家訓

明ルク
強ク
正シク

出征當時ノ感激ト決意トヲ常ニ想起シ必勝ノ信念ノ下
本領發揮ニ邁進スベシ

第二章 命令報告通報及事務

第一節 命令

第五 命令ノ傳達ハ日課時限表ニ示ス會報時
事務室ニ於テ行フ
會報出席者ハ各分隊長(掛下士官)トス
各分隊長(以下掛下士官ヲ含ム)不在ノトキハ宿舍ノ
先住者出席スルモノトス

第二節 報告

第六 作業開始前日直(週番)下士官ハ人員狀況
隊長以上ニ報告スルモノトス
第七 上司ニ対スル報告ハ聯隊(美田部隊ヲ云フ以下同ジ)
本部ニ二部尾崎隊ニ二部提出スルモノトス
第八 第三節 事務
曹長ハ一週間毎ニ陣中日誌ノ点検ヲ受クルモノトス

第三章 宿營地及室内裝置

第九 宿營地ニ設置スル警戒高威附圖第一ノ如シ
各宿舍毎ニ先任者ヲ以テ宿舍長トナス
第十 配宿家屋内ノ構造ハ隊長ノ許可ナク實施スベカ
ラス

第十一 各宿舍毎ニ鏡架・裝具掛等ヲ設備シ常ニ環境ヲ
改造ス

ヲ整理シ非常ノ場合矢態ナカラシムベシ

第四章 勤務

第十二 宿營間ノ勤務ヲ左ノ如ク定ム

日直(週番)一士官

日直(週番)一下士官

日直(週番)上等兵

衛兵

司令(下士官又一下士官)

歩哨掛(上等兵)

衛舎掛(上等兵)

歩哨(一)二等兵人員ノ關係ニヨリ

第十三 諸勤務ノ交代ハ通常ハ八トシ衛兵ハ緊急集合場

ニ於テ日直(週番)一士官ノ軍容検査ヲ受ケルモノトス

第十四 内務衛兵ノ閲讀ヲ許ス書類左ノ如シ

軍隊内務令 作戰要務令第一部 衛戍令

衛戍勤務令 陸軍禮式令同附錄 陸軍刑法

陸軍懲罰令 戰陣訓

第十五 日夕突呼後ヨリ起床時限ニ至ル間衛兵ノ三分ノ一

ハ假眠スルコトヲ得

第十六 衛兵司令ノ日常業務ヲ補足スルコト左ノ如シ

一 時刻ノ規正ハ一九〇事務室ニ於テ之ヲ實施スルモノトス

二 外未人ノ取扱概ネ左ノ如シ

1. 准士官以上ニ面會ヲ求ムルモノアルトキハ氏名ヲ面會

簿ニ記入シタル後各宿舎ニ案内セシム

2. 下士官以下ニ面會ヲ求ムル者アルトキハ其ノ隊号

官等級 氏名並ニ面會人ノ住所氏名及間柄ヲ面

會簿ニ記入シ日直(週番)一下士官ヲ經テ小隊長ニ

通報シ其ノ指示ヲ請フ

第十七 衛兵ノ服務要領左ノ如シ

1. 歩哨ハ晝間ハ一名警言戒区域内ヲ動哨シ夜間ハ(6)増加歩哨ト共ニ二名同行シテ概テ動哨徑路ニ從ヒ

動哨スルモノトス

2. 衛兵ノ服装ハ卷脚絆帶劍執銃鉄帽偽裝網トシ控兵ハ鉄帽偽裝網ヲ脱スルコトヲ得

第十八 動哨歩哨特別守則左ノ如シ

一 動哨徑路ヲ絶エズ見廻リ警言戒シ謀略火災及盜難ノ予防並ニ燈火管制ニ注意スルト共ニ警言戒区域内出入者ヲ監視ス

二 警言戒区域内出入ヲ許スモノ左ノ如シ

1. 部隊
2. 准士官以上及其ノ隨從者
3. 公用證 准士官以上ノ發行スル外出證明書ヲ有スル下士官 兵
4. 憲兵 傳令及郵便電信集配人

5. 部落住民

6. 其ノ他ノ者ハ衛兵所ニ行カシム

三 陣地及警言戒
警場ニ於テハ
近附カシム

動哨中異狀アリタルトキハ日直(週番)士官ニ急報スルト共ニ猶豫シ難キトキハ大声ヲ以テ附近ニ知ラス

第五章 起居及容儀

第十九 宿舍内ニ於テハ半裸体トナルコトヲ得警言戒區域外ニ

出ツルニハ必ず帶劍スルモノトス

警言戒区域内ニ於テハ勤務者以外ハ廉アル場合ノ外帶

劍ヲ除キ且下駄ヲ穿ツコトヲ得

宿營地ノ特性ニ鑑ミ特ニ節水ニ勉ムベシ

第二十 宿營間ノ日課時限ヲ附表第一ノ如ク定ム

第二十一 下士官以下ノ日朝寤呼ハ警言急集合場ニ於テ日夕寤

呼ハ通常各宿舍ニ於テ實施スルモノトス

第二十二 常時延燈ヲ許可スル場所ハ將校舎及事務室トシ(7)

炊事場ハ消燈後一時間及起床前二時間、下士官舎(8)ハ消燈後二時間半トシ臨時ニ延燈ヲ要スル者ハ日直(週番)士官ノ許可ヲ請クルモノトス
許可ヲ受ケタル者ハ日直(週番)下士官及衛兵司令ニ通報スルモノトス

第二十三 警警戒區域外ニ於テ隊長ニ遭遇セル場合ニ其ノ行動ヲ報告スベシ

第二十四 本宿營ノ特性ニ鑑ミ特ニ防諜ニ注意スルト共ニ關係者以外ハ部落民トノ接觸ヲ避クベシ

第二十五 下士官兵ニシテ事故アリタルトキハ細大洩ラサズ隊長、小隊長ニ報告スベシ

他隊幹部ヨリ注意等ヲ受ケ或ハ他隊下士官兵又ハ地方人ノ間ニ事故ヲ生ジタルトキニ於テ特ニ然リ

第二十六 當分ノ間公務以外ハ將校以下休日ト雖モ外出ハ實施セザルモノトス

第二十七 消燈時限以後外出ヲ要スルモノハ部隊ト雖モ下士官以上ノ證明ヲ携行スルモノトス

第二十八 警警戒區域以外ニ行動スル單獨兵ハ公用證又ハ准士官以上ノ證明書ヲ所持スベシ

第二十九 渡久地ニ至ル道路ハ南北道以外使用スベカラズ

第三十 警警戒區域外ニ出ヅルニハ衛兵所ニ姓等級、行先、用件ヲ通報スルモノトス但シ下士官(下士官勤務ノ)以上ノ指揮スル部隊ヲ含マズ

第六章 秘密ノ保持

第三十一 各宿舎ノ紙屑ハ毎日一七三〇日直(週番)下士官監督ノ下ニ取纏メ焼却スルモノトス

第三十二 防諜ニ關シテハ嚴ニ注意スベシ之ガ爲部隊ノ編成裝備、固有名、兵器ノ性能等ニ關シテハ口外スベカラズ之ニ伴ヒ隊名ハ常ニ通稱ヲ用ヒ火砲ハ(9)牽引車ハ(10)

ケ車ト略稱スルモノトス
尚私信ニ地名行動月日等ニ闕シ記載スベカラズ

第七章 衛生

第三十三 衛生業務ハ联隊ニ之ヲ依頼スルモノトス

第三十四 各人ハ深ク不節制ヲ戒メ戰陣病慮ニ斃ルノ遺

憾ナカラシムルヲ要ス

第三十五 風土ノ特性ヲ認識シ寝冷エテ予防スルト共ニ下痢

ハ体力消耗ノ最大原因ナルヲ思ヒ生水ノ飲用ヲ四敵ニ

戒ムベシ

第三十六 夏期屋外ニ於テ作業中許可ナク裸体トナルベカラズ

第三十七 細菌侵入ニシテ以テ跣足トナルベカラズ

第三十八 早期受診ヲ勵行スベシ

第八章 砲車廠 燃料 葯藥 置場

第三十九 防空偽裝 掩護ノ萬全ヲ期スルト兵ニ常ニ應急

態勢ニ在ラシムルヲ要ス

第四十 命令ナクシテ自動貨車ノ使用ヲ禁ズ

作業以外ニ使用スル場合ニ於テハ隊長ノ許可ヲ請クベシ

第四十一 燃料ノ出納ハ燃料請求表ニ所要ノ記入ヲナシ兵器掛

將校ノ認印ヲ受ケ兵器掛下士官ヨリ受領スルモノトス

第九章 炊事場

第四十二 食事ハ常ニ「トタミシ」ノ補充ニ着意シテ調理スベシ

第四十三 給養掛下士官翌週ニ於ケル獻立表ヲ調製シ段

列長ヲ經テ隊長ニ提出スベシ所要ニ應ジ現品検査ヲ

實施シ現況ヲ筆記報告スルモノトス

第四十四 炊事場ニ於テ守ルベキ事項左ノ如シ

1. 炊事ハ戦力ノ根源ナリ故ニ祭養ヲ主トシ簡易ヲ

旨トシ清潔整頓ニ勉メ且物資ノ受護節約ニ注意

シ浪費ヲ戒ムベシ

2. 任務ノ特性上ノ不軍紀ニ流レ易キヲ以テ常ニ行動ニ規矩アラシメ苟クモ放漫不軍紀ニ流ルルガ如キコトアルベカラズ

3. 分配ハ常ニ清潔公平ナラシメ且温食給養ニ勉ムベシ

4. 炊事場ニ於テ素リニ處立以外ノ調理ヲナスヲ許サズ

5. 物品ノ出納及保管ヲ確實ナラシムベシ

第十章 火災予防及非常呼集

第四十五 各宿舍ノ火元取締責任者ハ宿舍長トス

第四十六 部落ニハ石油「ランプ」備付シアルトコロアルヲ以テ火災

予防ニ注意スベシ

第四十七 揮發油ヲ「ランプ」ニ使用スルコトヲ嚴禁ス

軽油ヲ使用スルハ命令ニヨルモノトス

第四十八 非常呼集ノ際ハ鉄帽・被甲・銃・帶劍ニテ發言

急集合場ニ建制順序ニ集合スルモノトス

第十一章 營 倉

第四十九 營倉入ノ者ニハ詔勅集及戰陣訓ノ外物品ヲ所持

スルコトヲ許サズ

第十二章 郵便物及電報取扱

第五十 差出郵便物ハ總ベテ各分隊長之ヲ取纏メ点検

シタル後防諜掛將校ノ檢閲ヲ受クルモノトス

地方人ニ依頼シ或ハ其ノ他ノ手段ニヨリ間接ニ目的

ヲ達スルガ如キコトアルベカラズ

第五十一 郵便物裏書左ノ如シ

沖繩縣那霸郵便局氣附

球第一八八四部隊 平山隊

氏名

第五十二 検閲済郵便物の通常毎日〇時〇〇分まで
本部町郵便局に差出スモノトス

第十三章 雜則

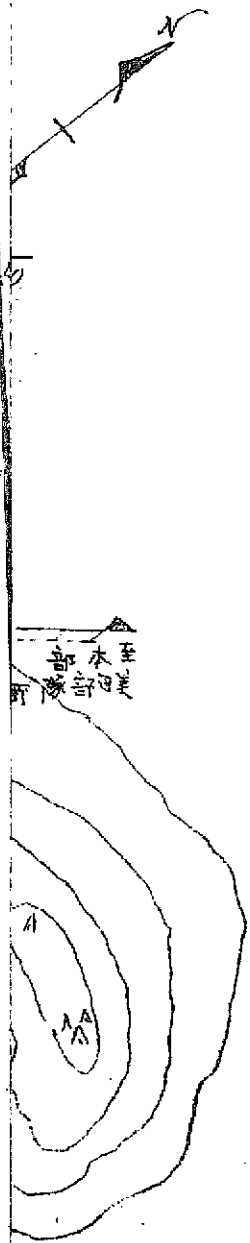
第五十三 毎日作業開始前朝禮ヲ實施ス此ノ際皇居ヲ遙
拝シ且戰陣訓ヲ朗誦スルモノトス

第五十四 勤勞奉仕員ニ對シテハ温和ヲ旨トシ暴言暴行
ヲナスベカラス

第五十五 作業ノ往復或ハ夕食後ノ一時等ヲ利用シ勉メテ
軍歌演習ヲ實施シ志氣ノ昂揚ヲ圖ルベシ

第五十六 自衛防空ニ関シテハ別ニ定ムルトコロニ據ル

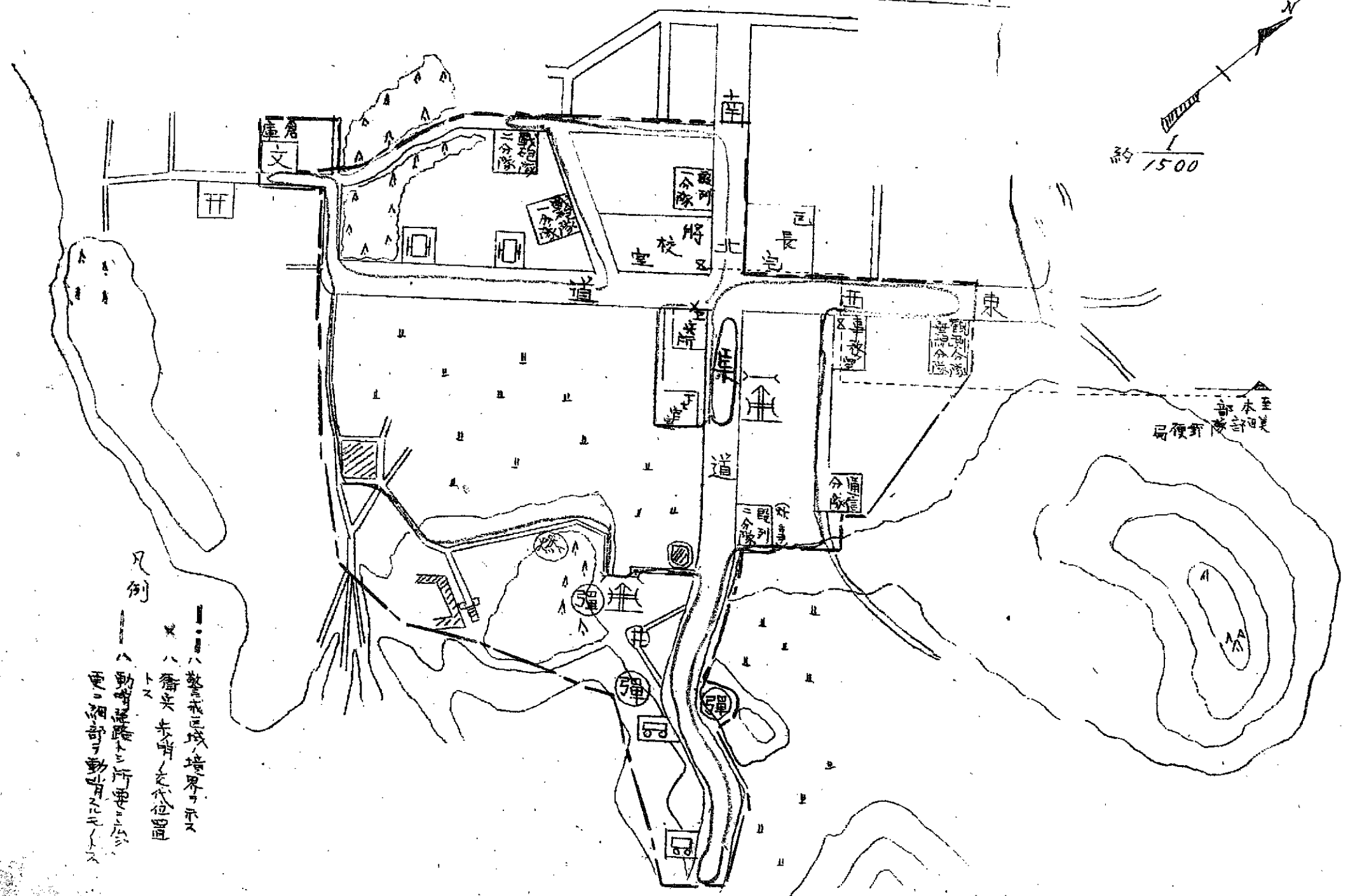
第五十七 事務用消夜品其他ヲ節用スルニ勉ムベシ
之ヲ爲簡易ナル事項ハ勉テ省紙ヲ利用シ且印刷ハ両面刷トナスモノトス



朝禮ノ集合ハ
本部町郵便局ニ
於テ行ハレトス

朝禮ノ集合ハ
本部町郵便局ニ
於テ行ハレトス

圖要城區或警並置配營宿 近附地名邊隊山平



附表第一日課時限表

起	吳	朝	朝	晝	諸	夕	衛	會	吳	消	警戒	備考
床	呼	食	禮	食	手	食	兵	報	呼	燈	上	!
五	五	六	七	二	自	至	八	八	九	二	夜	印
三	四	三	三	〇	七	八	〇	〇	〇	〇	間	八
〇	〇	〇	〇	〇	五	五	〇	〇	〇	〇	ト	喇
											ル	ハ
											ハ	ク
											ニ	ク
											〇	ク
											〇	ク
											〇	ク
											〇	ク
											〇	ク
											〇	ク
											〇	ク
											〇	ク
											〇	ク
											〇	ク
											〇	ク
											〇	ク
											〇	ク
											〇	ク
											〇	ク
											〇	ク
											〇	ク
											〇	ク
											〇	ク
											〇	ク

朝禮ノ集合ハ... 吹奏ス